

1.活動スタッフ・現地参加者数

活動スタッフ参加者：6名（内訳）			
男性	4名	アソシエイト層（～34歳）	0名
女性	1名	リーダー層(35～59歳)	5名
		シニア層(60歳～)	1名

2.活動場所・スケジュール

- ・ハネウェル居場所ハウス 岩手県大船渡市末崎町字平林 54-1 電話：0192-47-4049
- ・末崎地区公民館（ふるさとセンター） 岩手県大船渡市末崎町字平林 81 電話：0192-29-2955
- ・気仙大工左官伝承館 岩手県陸前高田市小友町字茗荷 1-237 電話：0192-56-2911

8/4（土）	イベント	場所
13:00-17:00	パソコン・ネット学習会(仮称)指導	ふるさとセンター
8/5（日）		
10:00-12:00	親子ものづくり教室	居場所ハウス
13:00-15:30	見学	気仙大工左官伝承館



3.参加者アンケート回答結果

【質問 1】 デジタル公民館まっさき 2018 第 2 回に参加し、気づいたこと、何か得たものがありましたか？

No	回答	人数	%
1	何もなかった	0	0%
2	少しあった	1	17%
3	いろいろあった	5	83%
	合計	6	

【質問 2】 デジタル公民館まっさき 2018 第 2 回に参加して、気づいたこと、何か得たものを教えてください。

8/4 パソコンよろず相談(ふるさとセンター)：地域での自律した活動を！と言ってしまったが、数人の方々に大きな負担が掛かっていることに気づき反省。持続可能という言葉が重たく感じる。8/5am 夏休み親子ものづくり教室(居場所ハウス)：高齢者がそれぞれの役割を担い、地域コミュニティの形成・活性化に寄与する活動に頭が下がります。都会のシニアも見習わなければ。8/5pm 気仙大工左官伝承館：武蔵館長のお話しには学ぶこと多く、「生きる力」をいただいた。

伝承館で武蔵さんの説明は、何度聞いてもしみいる物があり、次は我が身と思う事を感じている。

公民館での準備を整えてくださり、1：1の対応に集中させていただくことができました。

運営を心配せずに活動できたため、高度な画像編集など現地参加者と一緒に、よりチャレンジングなことにも着手できた。ありがたいと感じた。

夜のミーティングは、集中できる長さで情報共有でき、途中で力尽きず参加できたのでよかった。事務局のマネジメントが素晴らしい。ありがとうございました！

伝承館でのお話は貴重だった。

PC 教室では運営の負担が大きいように感じられました。

親子ものづくり教室に参加して、普段私の身の回りでは体験し難いことですが、高齢者が中心となりと地域の子供やその親たちが一つのことに取り組む様子を拝見し、さらに一緒に体験し

たことは貴重な学びです。

気仙大工左官伝承館では、武蔵さんの震災体験談を通じて、生活の知恵、いざというときの生きる知恵を学ぶ大変貴重な機会となりました。

同じことを何度も聞きにくい、どう質問したら良いかわからないといった問題があり、デジタル公民館まっさき活動の一对一の取り組みは必要と感じました。人と人の繋がりが全てだなぁとつくづく思う事しきりでした。IT プロじゃないですが、マニアの範疇でお伝え出来る事も沢山あると再確認しました。

【質問 3】 デジタル公民館まっさき活動以外の KK2 プログラムについてお聞かせください。

No	回答	人数	%
1	あまり関心がない	0	0%
2	関心があるが参加したことはない	0	0%
3	他プログラムに参加したことがある	3	50%
4	いろいろなプログラムに参加している	1	17%
5	様々なKK2事業を積極的に応援したい	2	33%
	合計	6	

【質問 4】 日本の「長寿社会」に対して私たちが取り組まねばならないことをあげてください。

健常者と障害者という概念を捨て、人間は一人一人皆生きにくさを抱え、違いがあることを知る。違いを尊重し合い、一人一人が役割を持って参加し活躍できる社会を目指したい。

長寿・長老となって、何もしないでいると言うのではなく、仲間、後継等に色んな技術や話を言い伝え継承できる仕組みや、場所・チャンスを作っていく事が大事と考えている。そんな中で、「居場所ハウス」という施設は代々引き継いで行かなければならない重要なものと思っている。

深い知識とノウハウをお持ちの健康な高齢者が、負担無くイキイキと活動できる環境づくり。課題は、「収入を得ることで減らされる年金(モチベーション低下)」「ワークシェアの意識を

浸透させること」「知識のノウハウを次世代に伝承するためのしくみ」など

常に学習する意識を持つこと。地域コミュニティに参加して謙虚な姿勢で知恵を学び、習得すること。そこで得た知識を若い世代や子どもたちに伝えること。

若いうちからライフキャリアデザインを描いて全てのライフステージで充実した職業人生を送るためのシステムづくりと教育。兼業副業によって知識教育ばかりでなく、実践的経験的学習機会を提供してしごと力を確保すること

やはり情報デバイドの解消。日本は申告主義なので、基本的な事も自分で調べて行かないと分からないので。そして、調べたり申し込んだりする仕組みが、個々の現状と合っていないため、探せない、出来ない人を量産しているのです。

【質問 5】今後の KK2 プログラムで取り上げてほしいことを教えてください。

1.健康寿命を伸ばすプログラム。2.お役所や企業の人々が「嘘つきは泥棒の始まり」であることを学ぶプログラム。3.一人一役みんなが主役を実現するプログラム。

末崎町の有志に東京へ来ていただき、東京の人々（官公庁、企業、NPO など）との意見交換※TV 会議システムでもできるが、東京を体感してもらうには、来訪いただくのがよい。課題としては、旅費の負担、プログラムの検討がある

知的シナジーのある長期的なキャリアデザイン。個人事業主として自宅で開業可能な兼業副業のプログラム。事業終了後の地域社会での貢献法

花粉症対策。豪雨災害に備えた準備、避難行動について。可能であれば、土日開催のプログラムを提供して頂けると参加しやすくなります。

情報デバイスの解消をいかに目指すか的な取り組みや適切な情報発信の方法を探るとか。職場の HP やソーシャルメディアの活用で悩ましい状況に陥っているので、是非

過去あった「～に学ぶ」シリーズ等で、末崎地区を更に掘り下げた研究。末崎も、西館、碁石、泊里、中井などの集落があり、住民と一緒に、その歴史を紐解く事も復活させても良いのではないだろうか。

以上